



## 重点取組：木質バイオマス利用への挑戦！

### 【事業概要図】



### 当別町木質バイオマス地域アライアンス



河川支障木チップ製造実証事業  
令和元年~2年度

- 河川支障木由来のチップ製造及び燃焼実証
- 河川支障木の自然乾燥実証
- 運搬手順の確立
- チップの成分分析、燃焼試験

道総研 戦略研究  
令和元年~5年度

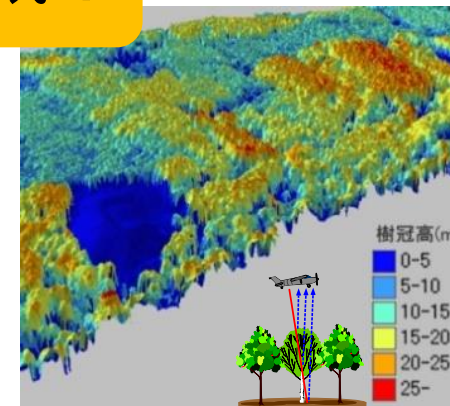
<戦略研究テーマ 研究フィールド：当別町>  
【木質バイオマス利用拡大技術の開発】

- ドローンによる賦存量調査
- 効率的なチップ乾燥
- ボイラの効率把握、改善

木質バイオマス地域アライアンス調査研究会  
平成30年度~

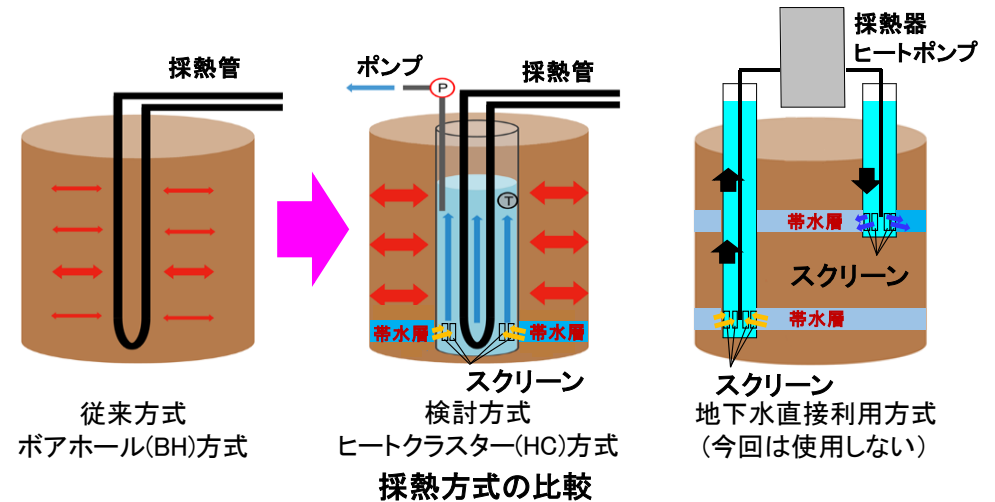
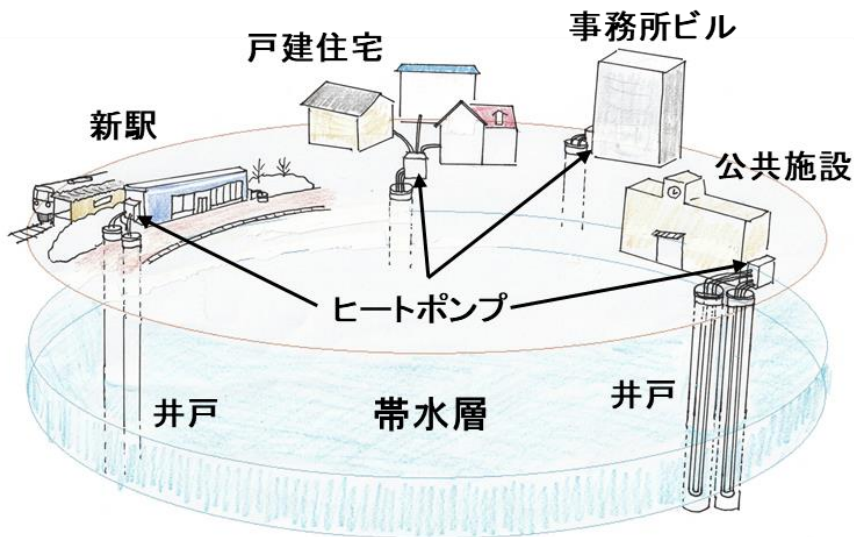
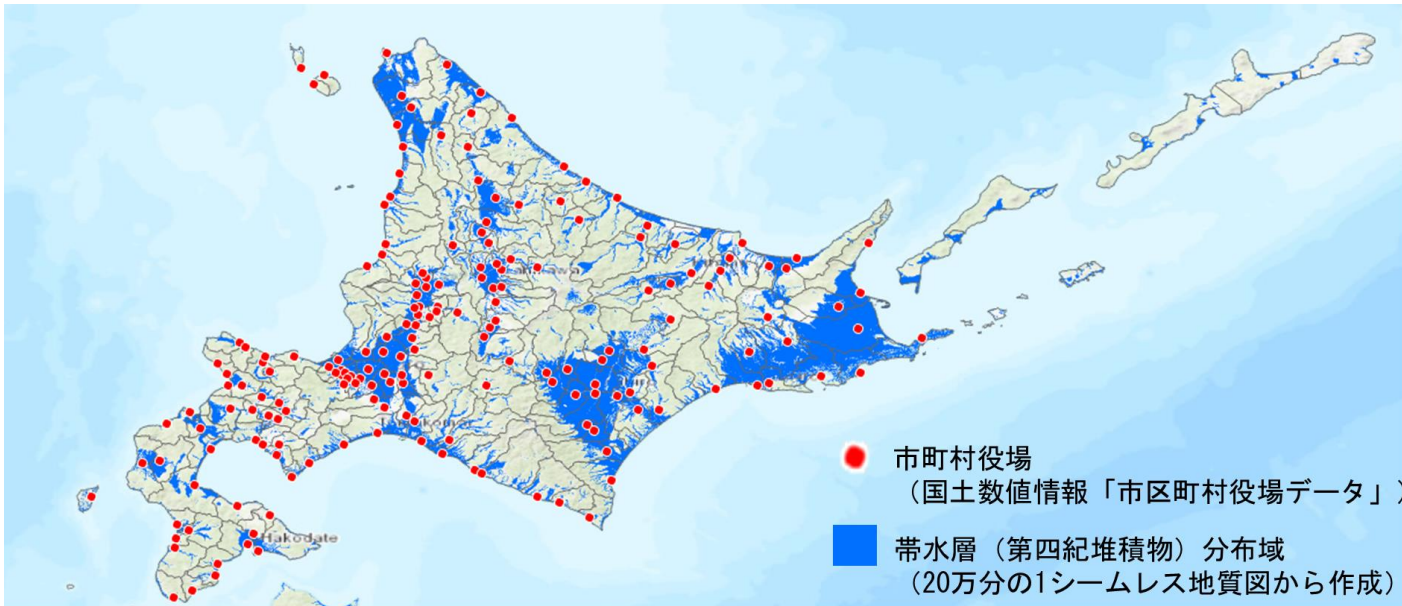
- 木質バイオマスを活用した事業化や調査研究に向けた連携・情報共有 (当別町、町内事業者、国、北海道道総研 H30年度から実施)

木質バイオマス発電所





## 重点取組：地中熱利用への挑戦！



## 重点取組：民間との共同戦略！



■ 道総研の技術協力  
によるさらなるコストダウン



■ 三井物産との木質  
ガス化発電！



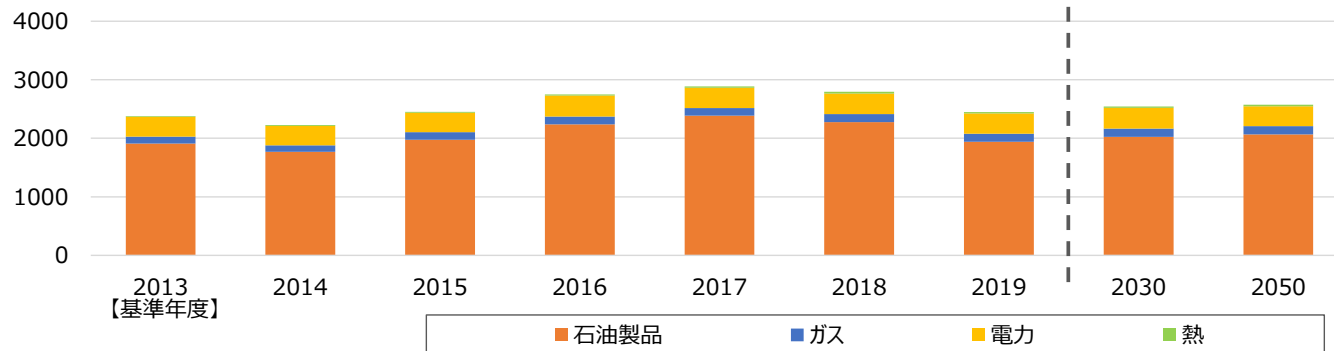
■ 三菱商事との小水力  
発電！

■ 今後は、地域電力や、太陽光によるPPA  
活用を目指したい！

# 当別町の脱炭素の取組み

5枚目

エネルギー消費量(TJ)



- 寒冷地、特別豪雪地帯のエネルギー内訳
- 化石燃料が約 8 割、電力は 1 割
- 化石燃料、特に冬の暖房エネルギー消費が多い



■ 大胆なエネルギー転換が必要！

■ まずは、太陽光の活用、生活スタイルの見直しから取り組む。

■ 政策的な取り組みを実施するが...

取組	短期 (今後5年)	中期 (2030年頃まで)	長期 (2050年頃まで)
① 自家消費型太陽光発電の設置	公共施設への太陽光発電設備の設置 (役場庁舎の新設)	500kW	
	住宅屋根への太陽光発電設備の設置	全世帯の40%	全世帯の60%
② 地域共生型の再生エネ (太陽光発電) 活用	公共施設・公共跡地での太陽光発電PPA事業	400kW	
③ 公共施設における地中熱ヒートポンプの活用	公共施設への地中熱ヒートポンプの導入	4施設	6施設
	当別ダムにおける小水力発電の実施	発電所稼働	
⑤ 公共施設への木質バイオマスボイラの導入	公共施設への木質バイオマスボイラの導入	5台	7台
⑥ 施設のZEB化	公共施設のZEB化 (役場庁舎の新設)	新設施設のZEB化	
	ホテル・業務ビルのZEB化	全事業所の10%	全事業所の15%
⑦ 住宅・建築物の省エネ性能向上	住宅の断熱改修の推進	全世帯の50%	全世帯の85%
	ホテル・業務ビルの断熱改修の推進	全事業所の50%	全事業所の80%
⑧ ゼロカーボン・ドライブ	太陽光発電利用型充電ステーション整備		
	乗用車のEV化	450台	900台
⑨ 資源循環の高度化	BDFの利用拡大		
	生ごみや下水汚泥等の活用		
⑩ コンパクト・プラス・ネットワーク	役場庁舎を中心としたエネルギーの共有化		
⑪ 林業の持続性の向上	森林整備の推進		
⑫ 農業の生産性・持続性向上の両立	スマート農業の推進	ドローンの活用	
	農業機械のEV化・自動化		

■ 町の努力だけでは足りない...

- 地域脱炭素に取り組む上での課題（悩み）
  - ・ゼロ円ソーラーを広めたい、だけど・・・特別豪雪地帯でパネル破損や日照が心配
  - ・ヒートポンプ活用で化石燃料をゼロへ、だけど・・・極寒の当別で使えるの？
  - ・太陽光PPAを公共施設、民間工場、大学等に広めたい、だけど・・・20年の長期契約の間に電力会社の電気料金が安くなったらどうなるの、心配
  - ・再エネには賛成、でも住民の合意形成を得ないFIT,FIP事業が町の中に広がる  
ことがないか、心配
- 民間企業に求めること
  - ・ゼロ円ソーラー、役場も協力、創意工夫で事業化を目指しませんか？
  - ・ヒートポンプ活用、地中熱や雪氷を利用して、事業化を目指しませんか？
  - ・太陽光PPA、役場も協力、創意工夫で事業化を目指しませんか？
  - ・自然と共生した再エネ活用を目指しています。一緒にアイデアを出し合いませんか？



# 当別町の脱炭素の取組み

7枚目

- 当別町は、自然と共生した脱炭素を目指しています！化石燃料ゼロへ！
- 公共施設は、町内で製造する木質チップを使って化石燃料を大幅に削減！
- 環境省の重点対策加速化事業に認定！町全体で太陽光パネル、ヒートポンプ導入へ！

**令和5年度 当別町 再生可能エネ設備導入推進補助金**

対象設備	補助率
太陽光発電設備 (個人設置)	1kWあたり <b>7.7万円</b>
太陽光発電設備 (事業者設置)	1kWあたり <b>5万円</b>
蓄電池(家庭用)	<b>1/3</b> (上限15.5万円/kWh)
蓄電池(業務用)	<b>1/3</b> (上限19万円/kWh)
EV・PHEV車	1kWあたり <b>2.7万円</b>
充電設備	充電電 <b>1/2</b> 外部給電器 <b>1/3</b>
新ストーブ・ペレットストーブ等	<b>2/3</b>
高効率空調設備・高効率給湯器等	<b>1/2</b>
ZEH、ZEH+ (net Zero Energy Houseの略)	ZEHの場合 <b>55万円</b> ZEH+の場合 <b>100万円</b>
断熱改修	<b>1/3</b>

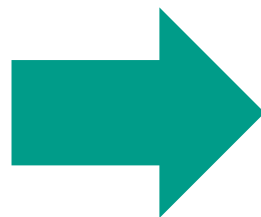
**補助対象者**  
 ・当別町にお住まいの方、町内に引っ越し予定の方  
 ・当別町内で事業を行っている方、行う予定の方

※すでに対象設備を契約(令和5年5月10日以降)した方でも、まだ工事が終わっていない方は対象となる可能性があります。

詳細は町ホームページをご覧ください。

交付決定は申請受付の先着順で行います。

申し込みに関するお問い合わせ先  
 〒061-0292 当別町白樺町58番地9 経済部 ゼロカーボン推進室 ゼロカーボン推進係  
 ☎0133-27-5089 E-mail:energy@town.tobetsu.hokkaido.jp



**【当別町の地域脱炭素の姿】(案)**

- 道民の森 ↑
- 森林地域
- 当別ふくろう湖
- 小水力発電
- 適正な森林設備の推進
- ZEB 化 木質 BIO ボイラ マイクログリッド化
- 住宅・事務所太陽光普及・省エネ EV,PHV の普及 (充電 ST) BDF 車 (バイオディーゼセル) 公共施設木質 BIO ボイラ導入
- 未利用材・河川支障木チップ製造
- 木質バイオマス発電所
- トラクターなど農業機械の電動化 (EV)
- ドローンによる農業自動散布
- 地中熱ヒートポンプ ロードヒーティング
- 地中熱ヒートポンプ暖房
- 木質 BIO ボイラ
- 木質バイオマス発電所
- 北海道医療大学
- 新役場
- 当別
- とうべつ学園
- 本町地区
- 太美
- ロイスタウン
- 道の駅
- 石狩川
- スウェーデンハウス
- 太陽光発電